



As-me ESTELLE

第60期(2018年3月期) 決算説明資料



2018年5月

証券コード:7872 東証1部

As-me エステール株式会社



2018年3月期 決算概要

1. 決算ハイライト
2. 決算サマリー
3. 連結損益計算書の概要
4. 既存店売上高の動向(As-meエステール単体ベース)
5. 連結貸借対照表の概要
6. 財務の状況
7. キャッシュフロー計算書の概要
8. 店舗展開の状況
9. 通期業績予想(連結)
10. 配当実績と予定

1. 2018年3月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2017/3期 (前期)	2018/3期 (当期)	前年同期比 増減率
売上高	32,579	32,686	0.3%
営業利益	1,360	1,545	13.6%
経常利益	1,292	1,528	18.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	436	827	89.7%

2. 2018年3月期 決算サマリー

当連結会計年度の売上高は、宝飾品事業で不採算店舗の圧縮を進めましたが、当期に開始した食品販売事業及び飲食店事業の寄与があり、前期比0.3%増となりました。不採算店の圧縮などによる販売費の減少があり営業利益、経常利益ともに前期比で増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、ベトナム子会社の台風による被害を特別損失に計上しましたが増益となりました。

●売上高は前期比0.3%増。売上高総利益率は0.4ポイント増加。
その結果、売上総利益は同1.0%増。

●営業利益は、販売費が前年並みに収まった為、前期比13.5%増の1,545百万円を計上。

●経常利益は、主に海外子会社での為替差損の減少と支払利息の減少もあり、1,528百万円を計上。親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の減少もあり827百万円を計上。

3. 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2017/3 (前期)	2018/3
売上高	32,579	32,686
売上原価	12,303	12,217
売上総利益	20,276	20,469
販管費	18,915	18,924
営業利益	1,360	1,545
営業外損益	△68	△16
経常利益	1,292	1,528
特別損益	△176	△245
親会社株主に帰属する 当期純利益	436	827

【主な収益変動要因】

■連結売上高は、当社及びBLOOMの不採算店舗の圧縮(前期末比△38店)がありましたが、食品販売事業及び飲食店事業の寄与により、前年同期比0.3%増となりました。売上総利益率は62.6%と前期(62.2%)より0.4ポイント増加。売上総利益は193百万円増加。

■販管費は、前年同期比9百万円増加。

■主な経費項目の増減は、賃借料が前年同期比△79百万円、消耗品費△62百万円、人件費△52百万円、減価償却費△21百万円、業務委託費が+95百万円、手数料+42百万円、販促費+26百万円、旅費交通費+26百万円など。

■営業利益は前年同期比+185百万円増加。売上高営業利益率は4.7%。

■営業外損益は、為替差損益の影響で、前期は43百万円の差損でしたが、当期は18百万円の差損に収まったこともあり、経常利益は1,528百万円となりました。

■特別損失の主なものは、不採算店の減損損失が173百万円で前年同期比△31百万円の減少しましたが、ベトナム子会社の台風被害を103百万円計上。

■親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社を合併したことによる法人税等の減少もあり827百万円となりました。

4. 既存店売上高の動向 (As-meエステール単体ベース)

既存店売上高増減率(前年同期比)

	上期	下期	通期
2016/3	102.3%	101.5%	101.7%
2017/3	100.5%	100.2%	100.3%
2018/3	101.3%	102.1%	101.7%

5. 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2017/3 (前期末)	2018/3
流動資産	24,526	24,698
固定資産	8,466	8,442
資産合計	32,992	33,141
流動負債	10,916	11,126
固定負債	8,805	8,470
負債合計	19,721	19,597
株主資本合計	13,265	13,419
その他の包括利益 累計額合計	4	62
純資産合計	13,270	13,544
負債純資産合計	32,992	33,141

【 主な財政状態の変動要因 】

■流動資産は前期末比172百万円の増加。主な科目の増減は、売掛金+342百万円、棚卸資産が+70百万円の増加。現預金が△218百万円の減少となった。

■固定資産は前期末比△23百万円の減少。のれんの+241百万円および有形固定資産+155百万円増加、敷金・保証金が△250百万円減少したことが主因。

■この結果、総資産は+148百万円の増加。

■負債合計は、前期末比△124百万円の減少。主な減少要因は、借入金の減少が△276百万円、未払い法人税等が△211百万円、退職給付に係る負債が△37百万円。

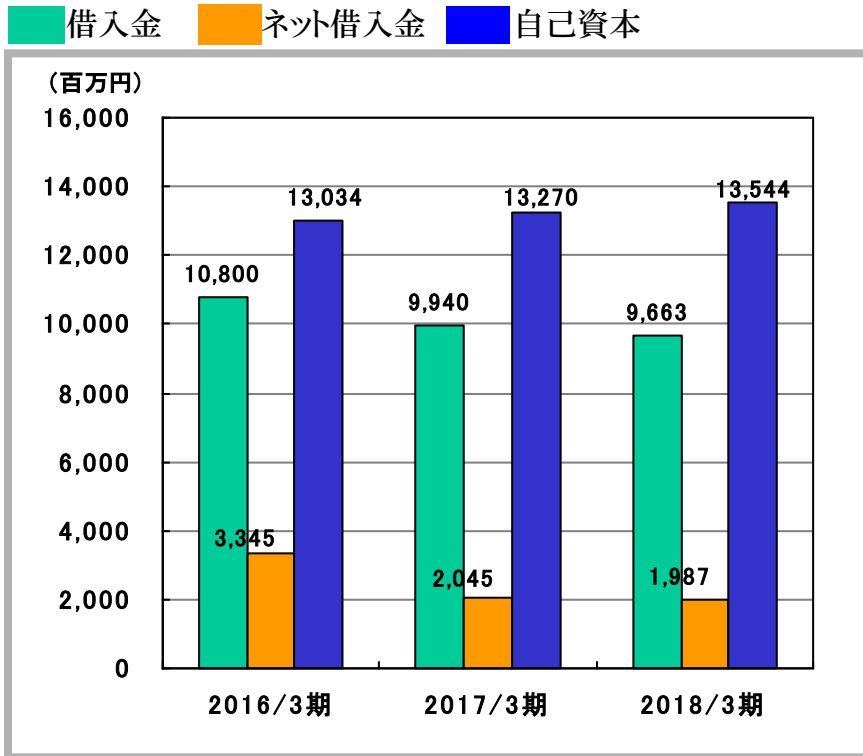
一方増加は、未払金が+310百万円、賞与引当金が+83百万円増加したことが主因。

■純資産は、前期末比+273百万円増加。主な要因は、配当金の支払△267百万円、自己株式の買付△274百万円、当期純利益+827百万円。

自己資本比率は、40.7%。

6. 財務の状況

■ ネット借入金と自己資本の推移



●借入金は減少、現預金を控除したネットの借入金は10億円台に減少。

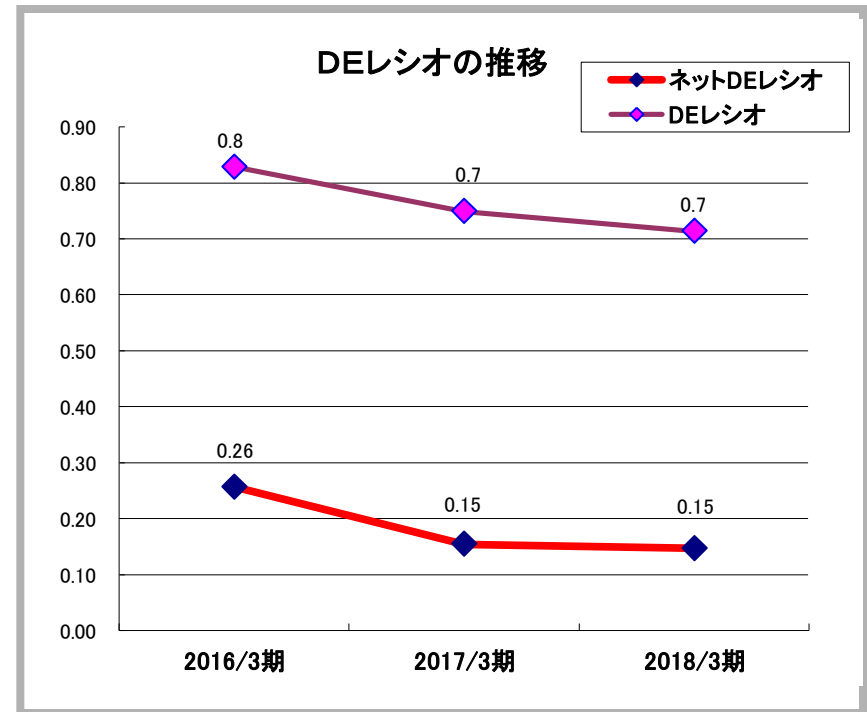
(ネット借入金 = 借入金 - 現預金)

(自己資本 = 株主資本 + その他の包括利益累計額)

■ ネットDEレシオの推移

DEレシオ = 借入金 ÷ 自己資本

ネットDEレシオ = (借入金 - 現預金) ÷ 自己資本



●借入金の減少、自己資本の増加を受けDEレシオも0.71へ
ネット借入金ベースでは0.14台へ。

7. キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2017/3 (前期)	2018/3
営業活動による キャッシュフロー	2,006	1,755
投資活動による キャッシュフロー	△432	△1,294
財務活動による キャッシュフロー	△1,131	△768
現金及び現金同等物 の増減額	441	△309
現金及び現金同等物 の期末残高	7,895	7,677

【主なキャッシュフローの内容】

【営業活動CF】

(資金増加要因)

税金等調整前四半期純利益 1,283百万円

減価償却費 605百万円

未払金の増加 320百万円

減損損失 173百万円

災害による損失 103百万円

(資金減少要因)

法人税等支払額 696百万円

売上債権の増加 342百万円 など

以上により営業活動CFは1,755百万円の増加。

【投資活動CF】

(収入)

敷金保証金の返還 492百万円

(支出)

新規出店、改装等の固定資産の取得 794百万円

飲食・食品販売事業の取得 647百万円

敷金保証金の差入 171百万円 など

以上により投資活動CFは1,294百万円の支出。

【財務活動CF】

(支出)

長期借入金の減少 276百万円 (純額)

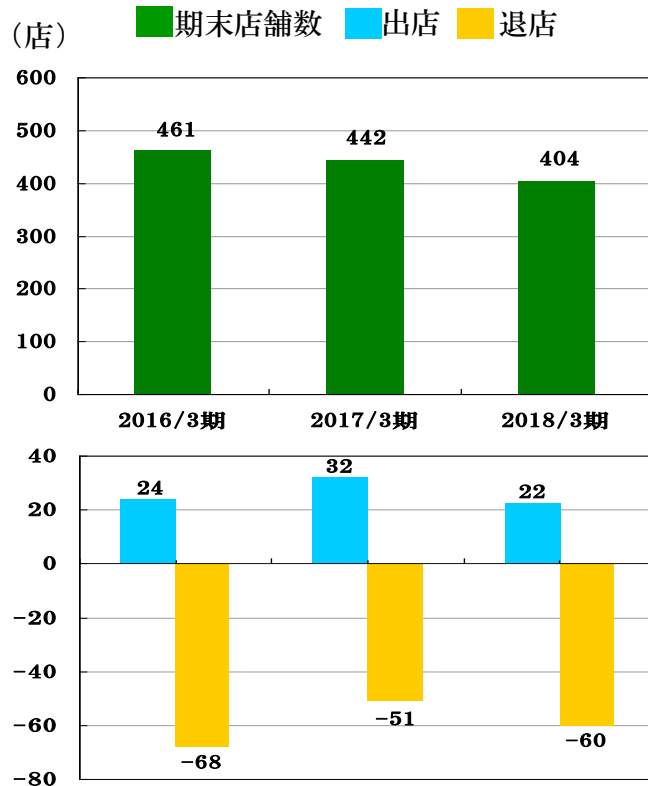
配当金支払 267百万円

自己株式取得による支出 274百万円 など

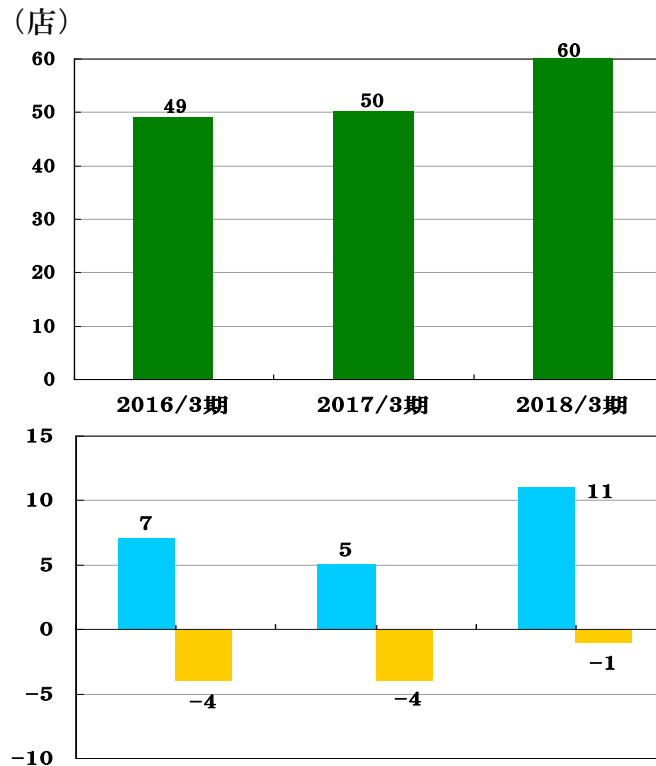
以上により財務活動CFは768百万円の支出。

8. 店舗展開の状況

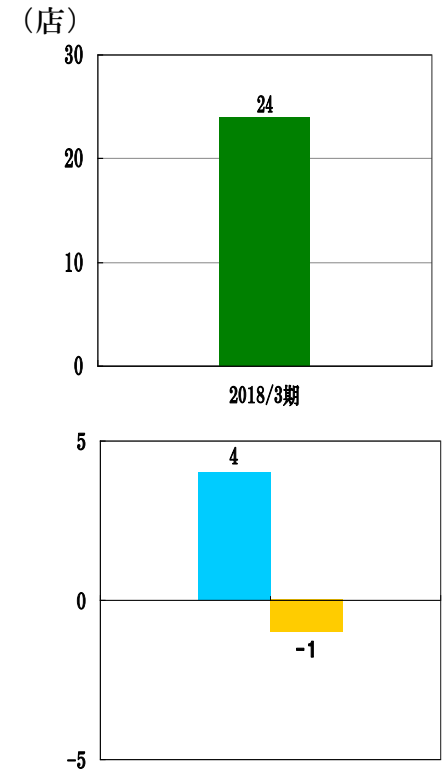
宝飾専門店 『As-meエステール+BLOOM』



メガネ専門店 『キンバレー』



飲食・食品販売専門店 『ウイレッシ/ヴァンガード/ブレース』



(注1) BLOOMは、消化仕入契約に基づく百貨店等への出店を含んでおります。

(注2) As-meエステールは、他に12店舗でブランド展開(コーナー名「グッドネス」等)

(注3) 宝飾品海外店舗は以下の通り

・ベトナム：ハノイ(4)ニャチャン(1)ホーチミン(2) ・中国：杭州(2)上海(1) ・カンボジア：プノンペン(1)

9. 通期業績予想(連結)

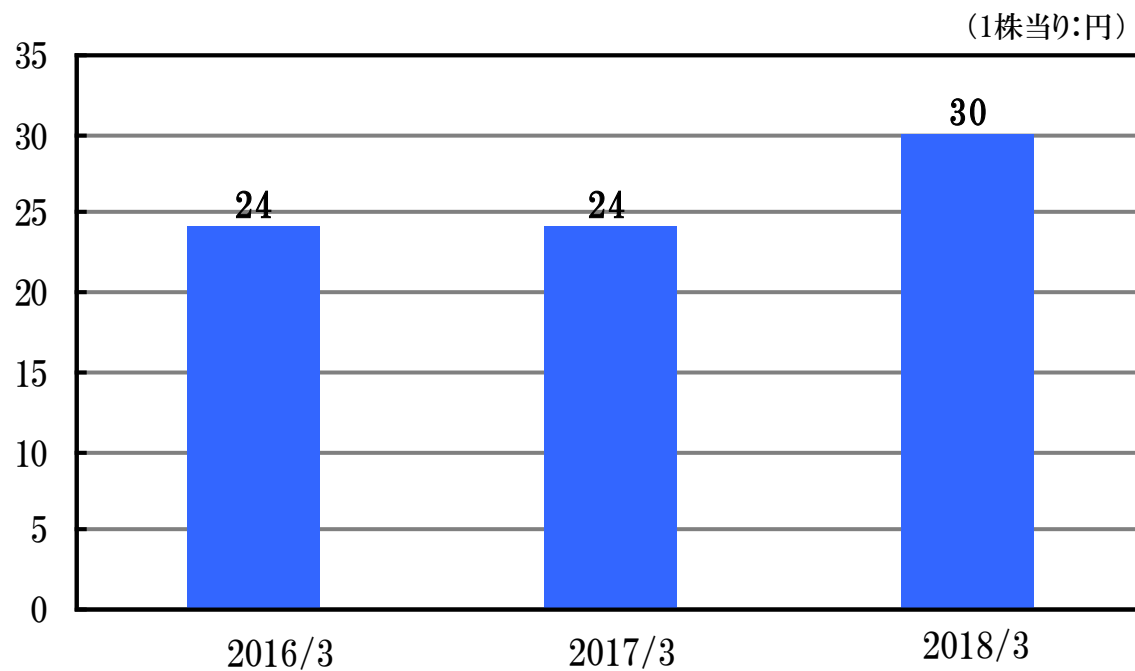
(単位:百万円)

	2018/3	2019/3 (業績予想)	前期比 増減率
売上高	32,686	33,000	1.0%
営業利益	1,545	1,605	3.9%
経常利益	1,528	1,580	3.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	827	650	△21.4%

■売上高は、不採算店舗の整理、店舗のリニューアル等により、前年同期比314百万円(1.0%)増を見込んでおります。

■「顧客層の拡大」に向けた諸施策を引き続き展開するとともに、多様化するお客様のニーズに対応するため、アクセサリーからジュエリーまで魅力的な商品展開を強化し、お客様から信頼される店舗運営に取り組み営業基盤の充実を目指します。また、眼鏡事業や食品販売・飲食店事業についてもグループの柱として企業体質や収益力強化に取り組み、販売促進・営業企画に力点を置いたメリハリのある経費配分と経営管理体制の強化を行ないます。以上の施策により、前年同期比で営業利益 3.9%増、経常利益 3.4%増、親会社株主に帰属する当期純利益は△21.4%減を見込んでおります。

10. 配当実績と予定



今期2018年3月期は、普通配当を3円増配の27円、会社設立60周年記念配当3円を加え、合計30円をお支払し、株主様への還元に心がけてまいります。

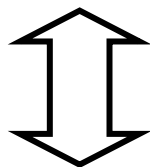


Ⅱ. 今後の方向性

1. 中期経営計画の重点課題
2. マーケットの拡大
3. 中期経営計画の収益目標

1 中期経営計画の重点課題

新たな顧客層の開拓



成長戦略を担う事業開発と育成
(食品販売・飲食店・EC事業
・海外小売店舗・コスメ)

マーケット動向の把握と訴求力のある店舗
(効果的なスクラップ&ビルドの推進)

商品力の強化と品質管理

現場に即したスキル習得とリーダーの育成

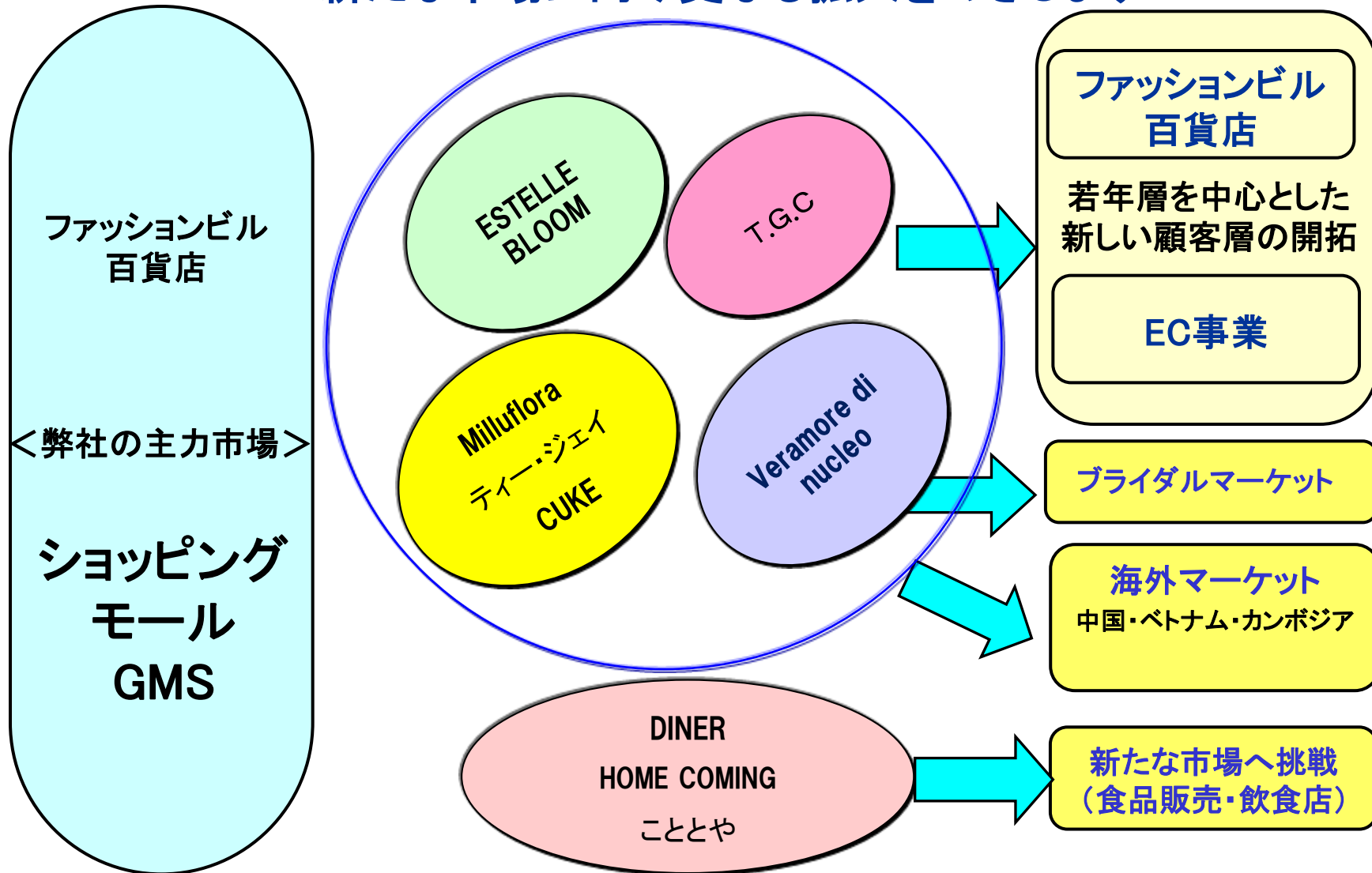
海外市場に対応した商品開発
EC事業の強化

経営管理体制の強化

(人材育成、コスト・在庫の適正化、効率化)

2 マーケットの拡大

新たな市場に向け更なる拡大をめざします



3 中期経営計画の収益目標

(単位:百万円)

	2018/3期 (実績)	2019/3期 (計画)	2020/3期 (計画)
売上高	32,686	33,000	33,280
営業利益	1,545	1,605	1,885
経常利益	1,528	1,580	1,845
当期純利益	827	650	940

【お問い合わせ先】
As-me エステール株式会社
管理本部
TEL：03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われないようにお願い致します。